



消防大学校だより

■ 予防科における教育訓練

消防大学校では、専科教育において、予防業務の指導的立場にある職員を対象として、予防業務に関する高度な知識及び技術を専門的に修得させ、予防業務の教育指導者等としての資質を向上させることを目的に「予防科」を設置しています。

予防科は、年度内に2回実施しており、今年度1回目となる第120期は、令和8年5月27日から7月14日までの日程で実施し、全国の消防本部等から集まった42名全員が無事卒業しました。

本課程では、消防庁の審議官による講話や予防課長による予防行政の動向のほか、消防本部のみならず多方面から講師をお迎えし、関係法令や違反処理をはじめ、危険物規制及び火災調査の基礎等についてご講義いただきました。

課題研究では、学生が各所属における実務上の課題や予防行政を取り巻く諸課題を題材に、講義で習得した知識や近年の社会情勢を踏まえながら調査・分析を進めました。アンケート調査や文献調査等により現状を整理するとともに、班内での討議を重ね、多様な視点から実効性のある方策について研究を深めました。課題研究発表会では、消防庁予防課から講評者を迎え、各班が研究成果を発表し、発表後には実務的な視点を交えた活発な意見交換が行われました。学生にとって今後の予防業務の在り方について考察する大変有意義な機会となりました。

予防科の特色ある授業の一つである企画違反処理実習では、学生が主体となって違反処理に関する実習を企画・運営し、実践的な知識・技術の習得と指導力の向上を図りました。今年度は実習時間を拡充したことで、企画内容の検討から実施、検証までをより丁寧に行うことができ、学生一人ひとりが違反処理に対する理解を深めながら主体的に取り組みました。

また、実習中に生じた疑問点や課題については、教官と学生が積極的に意見を交わし、多角的な視点から検討を重ねました。議論を通じて考え方や判断の根拠を整理することで、実務を見据えた対応力や応用力を養う機会となり、実習の教育効果を一層高めることができました。

学生からは、「予防行政に対する姿勢を大きく変えて

くれた」「実務に直結する多くの学びを得ることができた」など、充実した研修であったとの声が寄せられました。また、全国各地から集まった学生同士が、共同生活や討議を通じて互いに刺激を受け、多様な知見や経験を共有できたことは、かけがえのない財産になったものと思われま

す。今後は、消防大学校で培った知識・技術に加え、研修期間中に築いた仲間とのつながりを大切にしながら、それぞれの所属において研鑽を重ね、地域住民の安全・安心の確保に向けて、より一層活躍されることを期待しています。



集合写真



企画違反処理実習の様子



火災調査科における教育訓練 ～模擬家屋実習について～

消防大学校では、専科教育において、火災調査業務に関する高度な知識及び技術を専門的に修得させ、火災調査業務の教育指導者等としての資質を向上させることを目的に「火災調査科」を設置しています。

火災調査科は、年度内に2回実施しており、今年度1回目となる第50期は、令和8年5月28日から7月15日までの日程で実施し、全国の消防本部から集まった47名全員が無事卒業しました。

本課程では、全国の消防本部において火災調査の指導的立場にある職員が、更なる資質向上を目的として約2ヶ月にわたる教育訓練に励んでおり、座学（講義）のほか、実際に車両を燃やして見分要領を学ぶ「車両鑑識実習」など様々な実習を行います。ここでは本課程を総括する実務型の教育訓練である模擬家屋実習について紹介します。

【模擬家屋調査実習の概要】

模擬家屋調査実習は、約10㎡の建物を4棟仕立て、内装や家財等を実際の家屋と同様に設定し、それぞれ異なる原因で木造家屋に火災を発生させ、実際の現場に即した形で火災調査を行い、現場における調査技術の向上を図るものです。

各棟とも、現場調査終了後、出火箇所付近から収去した石油ストーブ等の鑑識を実施したほか、再現実験を行うなど、科学的かつ客観的な火災調査の実践に努めました。

【模擬家屋調査実習での取組】

学生が主体となり、それぞれの任務分担（調査責任者・主任調査員・発掘者・写真撮影者・図面作成者）に基づき、火災現場の指揮要領から消火、現場発掘、鑑識、再現実験及び関係者への原因説明要領までを実施し、その上で、学生一人ひとりが火災調査書類を作成しました。

研修の最後には、火災調査発表会を実施し、指導者としての説明能力（プレゼン能力）の向上を図るとともに、活発な意見交換を経て、更なる知見を得ることができました。

卒業した学生からは「入校当初の目標を達成することができ、大変有意義であった。」との感想が多く寄せられました。同じ目標を持つ仲間が全国から集い、入校期間中を通して様々な意見を交わすことができたことは、大変貴重な経験であったと思います。

今後は、各学生が消防大学校火災調査科の卒業生としての誇りと自信を持ち、科学的かつ客観的な視点で火災調査を行い、地域の安心・安全のために活躍されることを心から願っております。



模擬家屋の消火状況



関係者への聞き取り状況



模擬家屋の調査実習の様子



鑑識実習の様子

問合せ先

消防大学校教務部
TEL: 0422-46-1712